

反戦・反核・二期阻止 総決起すぞ

反戦・三里塚大集会



日比谷公会堂埋め尽す2580名 7.31集会 圧倒的に成功

日刊 動労千葉

83. 8. 4

No. 1408

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

七月三十一日、三里塚闘争に連帯し動労ジェット闘争を支援する東京実行委員会が主催する「反戦・三里塚大集会」が、日比谷公会堂を満ぱいにする二五八〇名の結集でちとられた。

レーガンの核軍拡・戦争挑発政策。中曽根の軍事大国化強行。こうした中で反戦・反核の闘いの砦、三里塚に二期着工攻撃・組織破壊攻撃が加えられている。中国侵略の本格的開始、盧溝橋事件より四六年前、再びアジアへの侵略と虐殺の先兵となるな、三里塚農民のたたかいを先頭に、全国で反戦・反核・反基地の闘いを爆発させ、職場・地域での実力決起を創り出し、戦争と反動の元凶・日本帝国主义、中曽根政権をうちたおそう——を合言葉に結集した仲間、この集会の成功をバネに、8・8パイプライン供用開始粉碎・二期阻止の集会への総決起と、さらに全国津々浦々の闘いを根こそぎ掘り起こして10・9三里塚大集会の空前の大爆発を何が何でもきりひらくことを誓いあつた。動労千葉からは、各支部より百十名が参加し、関川委員長、中野書記長があいさつならびに講演をおこなつたほか、中江昌夫船橋市議も決意表明をおこなつた。

三里塚を闘う者のみが未来を開く

集会は、正午すぎ、東京実行委員会世話人の高島喜久男氏の開会のあいさつではじめられた。

第一部として、丸山照雄氏の司会により、新谷のり子さんの歌、とび入りの人のギター・歌について、破防法弾劾弁護団長・九州大学名誉教授・井上正治氏の記念講演をうけた。井上氏は、免田事件を例にひき「裁判というものは、こんな恐ろしいことを平気でやるものだ」と支配者の意にそつて用いられる法・裁判の本質を告発。「現代の治安維持法たる破防法と真剣に闘っているのは三里塚を闘っている人たちだけだ。共産主義の思想・運動が弾圧されるとき、すべての自由が侵害される」と、三里塚闘争の重要性を指摘。

第二部に移つて、自衛隊三等空曹・小西誠氏より「自衛隊内からの反戦の訴え」、忍草母の会・天野美恵さんより「ゲリラで演習阻止した北富士農民の闘い」、基地と侵略演習に抗し、皇太子訪沖阻止を唯一闘つた沖繩の三里塚を闘う仲間を代表しての沖繩青年委員会・宮城正明氏からの「沖繩からの訴え」がなされ、生々しい最先端現場での闘いを全員が感動こめて共有した。

ジェット闘争五年間の勝利の教訓をおし拡げよう



全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！

続いて、動労千葉・中野書記長が登壇し「80年代労働運動の原点にたつ」との講演がおこなわれた。中野書記長は「動労『本部』革マルによる当時の千葉地本三役に対する査問委員会設置の暴挙に対決して開かれた一九七八年十二月十日の日比谷公会堂集会は、この五年間のわが動労千葉の闘いのバネであり出発点であつた。ジェット燃料貨車輸送強行に抗する一〇〇日間順法闘争、八一年三月延長阻止五日間スト貫徹。なぜ、われわれは、あのような闘いをやったのか。第一に、『国策』の名で農民を虫けらの様に圧殺する権力を許せないこと、第二に、三里塚闘争の勝利こそが80年代の未来をきりひらくからであり、第三に、日本の底迷する労働運動を根底からつくり直し、労働者自身の利益をも守ることができると確信したからだ。ジェット闘争を貫徹したこの五年間を振り返ると、多くの教訓をえた。処分・弾圧・反動をもよび起こし血も流したが、これをつぎぬけて、それ以上に強くたくましくなってきた。今こそ、この五年間の成果を全国へ押し拡げる時だ。三里塚を基軸にすえた労働運動を。三里塚・国鉄決戦の勝利が未来を決する。8・8集会を成功させ、10・9へ大結集しよう」と鮮明に訴えた。

続いて、北原事務局長と多くの反対同盟農民からの訴えと決意の後、司会を国枝氏にかわつて、第三部に移つた。関川委員長、中江船橋市議、部落解放同盟荒本支部瀬川支部長、意岐部東小辻岡先生、全関西実行委安藤氏、沖繩民権の会古波津氏、学生戦線等よりあいさつ・決意がのべられ、長谷川杉並区議による集会アピールののち、浅田光輝代表世話人の閉会のあいさつをもって熱気あふれる集会を成功裡に終了した。

集会の成功をバネに、全力あげて「8・8パイプライン供用開始粉碎、二期阻止、空港廃港、総決起集会」へ、8日10時、千葉市みなと公園へ！